



博士人材教育の新たなカタチ

HIGO program

Newsletter vol.5

12

2015

<http://higoprogram.jp>

【特集】インターンシップ

熊本大学 博士課程教育リーディングプログラム
グローバルな健康生命科学パイオニア
養成プログラム HIGO

グローバルな健康生命科学パイオニア養成プログラム HIGO 健康生命科学の次世代リーダーを目指して



HIGOプログラム Q&A

Q1

そもそも熊本大学のHIGOプログラムって何？

A. 医学・薬学を基盤とする知識を持ち、**九州・アジア・世界で活躍できる“博士”**を育成する大学院のことです。

Q2

今までの博士と何が違うの？

A. **“即戦力”が違います！**広い社会常識と高い専門知識、豊かなコミュニケーション能力を駆使して「社会のニーズ」に応える**“新たなカタチ”**の博士を目指します。

Q3

グローバルな健康生命科学のパイオニアとは？

A. グローバルとは**「グローバル×ローカル」の造語**。九州・アジアの社会的ニーズを理解し、地域と世界を結びつけ、地域医療や環境問題などの課題を解決できる人材のことです。

Q4

HIGOプログラムは具体的にどんなリーダーを輩出したいの？

A. 「アジアへの玄関口」でもある熊本・九州から、**(1)企業のアジア進出を推進するリーダー、(2)国内外の医療行政に携わるリーダー、(3)国際的に活躍する研究教育リーダー**などを輩出します。

熊本発のグローバルな社会活動

HIGOプログラムは、熊本県・熊本市や県内の民間企業などと連携し、様々な活動を行っています。

子宮頸がん検診率向上のための活動 (K発プロジェクト)

熊本大学（附属病院産婦人科、保健学科、社会文化科学研究科など）、行政機関（熊本県健康づくり推進課、熊本市健康づくり推進課）やKKTくまもと県民テレビ、民間医療機関と連携して実施している活動に、HIGOプログラム生や教員が参画。11月1日の熊本大学の紫熊祭では、プログラム生たちが中心となり、子宮頸がんにかかった女性を主人公とする映画を上映。熊本県、および熊本市の協力を得て、医師による講演や無料検診ツアーも実施しました。



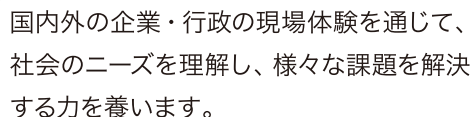
熊本市の国際化に関する取組

熊本市、A-commerce、マレーシア政府系機関ハラル開発公社が協同で実施している活動に、HIGOプログラム生や教員を中心とする熊本大学の有志が参画しています。熊大チームは「英語の観光マップ」に掲載する情報の収集と「ムスリムフレンドリー」のステッカーの作製を担当。これらの活動を熊本市民の方々に周知、浸透させるために、熊本市主催のイベントにも参加しています。



ムスリムフレンドリーステッカー





Government Internship

2015. 7.25, 7.30, 8.22–8.23

【参加者：学生23名、教員9名】

今年で3回目となる天草地域でのインターンシップ。継続した活動を通して、地域医療の問題点が見えるようになりました。そこで今年は、目標を“医療・福祉サービスの充実”から“地域住民の健康増進”に絞り、より具体的な提言を目指しました。

日本語での
プレゼンに初挑戦。
自国ミャンマーとアジア各国の
医療保険制度の違いがわかり、
自国の医療制度の強みと弱みを
客観的に検証できた

自分たちで
アンケートを
作成してみて、
設問設定などの
難しさを実感！

それぞれの
立場から異なる視点の
意見を出し合えば、
思わぬ解決策が
見つかることも……



目的 地域医療をテーマにローカルな課題発見・解決能力を養う

- 医療関係施設の見学 ■地域医療従事者による講義
■医療行政関係者との意見交換

過疎地の医療の現状把握

住民へのインタビュー

解決策の提案・ 新たな課題の抽出

地域医療推進に向けた 課題の抽出・分析

多職種連携ワークショップ
(行政・医療・大学)

H25 地域医療について行政、医療従事者、住民のそれぞれの視点から考える

【課題】 慢性的な医療従事者の不足

H26 地方財政の現状から考えると医療従事者の雇用拡大は難しい・・・

【課題】 特定健康診査受診率の向上

地域住民が自ら健康を維持できるまちづくりの促進

H27 健診やがん検診の重要性が若い世代の住民に理解されていない・・・

【課題】 若い世代からの健康意識の向上

小学生の親世代の健診受診率を上げるために、小学校の就学時健診時に親を区役所や塾の集まり等に呼びよせ、親子での健診を実施している。

来年度も継続して実施します！

3年間で天草地域の実態がわかってきました。今後は、
“あいり健診”のアイデアを実施し、検証していきたいです。

今年2月、上天草総合病院学会にHIGOプログラムの皆さんが参加してくれました。これは病院のスタッフに勇気を与えます。というも日頃は中央と地域の格差を意識することが少なくありません。しかしこの活動は大学の研究実践の場として、上天草市を選んでいるからです。おなじく病院付属看護学校学生には、地域の学校で学ぶことに自信をもたせてくれます。この活動が、地域から中央に伝える活動として育つように願います。

上天草市立上天草総合病院
院長 坂本興美 先生

天草郡市薬剤師会とHIGOプログラムとの関わりは、当初の目的であった「天草地域で活躍できる人材の確保」から「地域医療における多職種連携」へと変化したと感じています。これは当然の帰結であり、薬剤師会にとっても「HIGOプログラムと多職種の方々と橋渡し役になる」という位置づけを確認できた3年間となりました。今後は「薬学における地域医療」という視点で、より学際的な取組ができるよう期待しております。

天草郡市薬剤師会
会長 北岡敏克 先生



企業

Business
Internship



今回の学びを
活かし、研究室で
より良い組織を作り、
周りが「ついていきたい」
と思えるリーダーを
目指したい

一般財団法人 化学及び血清療法研究所

2015.10.26 - 10.30 【参加者：学生6名、教員1名】

熊本を拠点にワクチンや血漿分画製剤などのバイオ医薬品の研究開発・製造を行う化血研。研究実習や生産技術に関するグループワークを通して、企業運営には、「知識と実践をつなぐ内省“reflection”と「継続的改善“improvement”」が重要であることを学びました。

さらに、「企業のグローバル化」や「博士人材の雇用」をテーマとしたグループワークの中で、専門知識とコミュニケーション能力をバランスよく備えた人材が求められていることを実感。バイオ医薬品メーカーにおいて、目指すべき人材像を具体化できた5日間でした。来年度も、企業で活躍できる“新たなカタチ”の博士を目指すHIGOプログラム生の姿を積極的にアピールします！

社会に出るまでに、
博士人材の
強みを活かし、
アイデンティティを
高めたい



株式会社 新日本科学

2015. 8.31 - 9.4 【参加者：学生8名、教員2名】

国内初の医薬品開発研究受託機関である新日本科学。前臨床試験の現場を体験することによりグローバルな視点での実践的能力の向上を図りました。コンプライアンス、企業経営、新薬の安全性試験などに関する講義や意見交換、薬の毒性試験のガイドラインに関するミニテストの受験、施設見学などを行い、最終日には、5日間の研修を振り返るレポート作成やプレゼンを行いました。



先進的な施設
見学や実験実習は、
将来の研究にも
役立つ

社員の皆さんが
全ての質問に
丁寧に答えてくださり、
良い勉強になった



“中学3年生にも
伝わる記事作り”を体験！
研究成果を
人にわかりやすく伝える上で
とても参考になった



アジア諸国での
水銀の使用を止められ
ないなら、日本で、
水銀を体内で解毒できる
薬や食品を開発
できたら…



熊本日日新聞社

2015. 9.10－9.16 【参加者：学生4名、教員1名】

新聞社の現場体験を通じて新聞・マスコミ業界への理解を深め、多様な職種で共通するスキルや素養を学ぶためのインターンシップ。「アジアの中の日本・九州・熊本」をメインテーマに、「熊本のグローバル対応」と「水俣病と地球環境」を考えるというサブテーマでグローバルな課題の解決に挑戦しました。

取材・記事執筆体験

- インタビューや記事執筆・編集の要領などに関する講義
- 記者への同行、熊本市役所の市議会の傍聴
- 熊本県庁国際課の訪問。県内企業のアジア進出に関する取材



熊本日日新聞社編集委員
本学客員教授 井芹道一氏



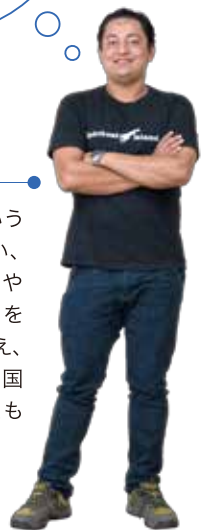
「外国人観光客に対する熊本市の対策」や「くまモンを活用した熊本県のアジア戦略」に関する記事を執筆し、編集総務と編集委員から添削指導を受けました。



熊本・九州の自然の
豊かさをもっとPRすべき。
外国人向けのレンタカー
サービスや田舎へのアクセス
マップを充実させては？

単独取材！ 熊本市の国際化度のチェック

「日本語が通じない外国人旅行者」という設定で市街を歩き、インタビューを行い、社内で取材の成果を発表。英語表記やwifiエリア、阿蘇山への交通の充実などを提案しました。また、地元の方の声をふまえ、アジア人観光客の誘致だけでなく、外国人に対するマナー指導が必要であることも指摘しました。



水俣病を発端とする環境問題の解決

- 水俣病、アジアの環境汚染、世界の水銀問題についての講義
- チッソの事業会社 JNC 水俣製造所の見学、意見交換



国立水俣病総合研究センターの訪問
水銀汚染防止における国際協力の
現状に関する講義、意見交換、毛髪から
の水銀測定



水俣エコタウン、家電サイクル
工場「アクトビー」の見学

熊本市議会を傍聴して原稿を書いてもらうという課題を出しました。思ったより(と言うと失礼ですが)よく書けていました。学生の皆さんには非日常の体験だったかもしれませんが、取材対象の多くは日常の出来事なのです。日々起きていることの中から何を感じ取るか。そのお手伝いを新聞ができればいいなと思っています。
皆さんのこれからの生活に、新聞が身近な存在であってほしいと願っています。



熊本日日新聞編集総務
甲斐壮一氏



海外

Overseas
Internship

地理的に見ると
東南アジアだと
思われがちなベトナム。
実は、その文化や医療は
東アジア、特に中国の
影響を受けている！

ベトナムには54
もの民族がいるため、
薬用植物の種類や
利用法も多岐に
わたる

ベトナム

2015. 9.7 - 9.20 【参加者：学生14名、教員3名】

ハノイ人文社会科学大学附属の研修専門機関であるTourism and Scientific Serviceと連携し、ベトナムの伝統医療、保健衛生システムや関連企業について理解を深めるためのプログラムを実施しました。

1週目 Hanoi (ハノイ)

- ベトナムの政治・文化・伝統医療、少数民族などに関する講義
- ハノイ公衆衛生学院、国立病院・薬局訪問
伝統医療の現場の見学、教員・スタッフ・学生との意見交換



ベトナムでは
現代医薬よりも安価で
安全な方法として、漢方薬、
鍼治療、指圧などの
伝統医療が普及している。
今後は、薬効などに関する
科学的証拠を
得ることも必要



寝台列車
で移動



熊本大学やHIGOプログラムの紹介

WHO
ハノイ
訪問

公衆衛生への取組や国連・世界銀行などの他機関との連携、国際機関で働く際に求められるスキルなどに関する講義、意見交換

2週目 農村部：Sapa (ラオカイ省サパ)

- 少数民族集落におけるホームステイ
- 伝統医薬メーカー SAPA-NAPROでの On the job training (OJT)
- ベトナム大手製薬企業 Traphaco 訪問
薬用植物園と工場の見学
スタッフとの意見交換、グループワーク

HIGOプログラム生らは「これまで、薬草に関する知識は口承されているが、今後、小学校教育の段階から伝統医療の役割や保護の重要性を伝えていくべきだ」「SAPA-NAPROの製品を伝統工芸品である布でラッピングすれば、観光客が、薬草製品と布の両方に興味を持ってくれるだろう」などの提案をし、SAPA-NAPROから高い評価を得ました。



薬用植物の採取から入浴剤の製造工程までの体験



サパ地域の伝統医療の保護やプロモーションに向けた活動成果報告会

皆さんが研究に熱心に取り組む、的確なアイデアを出す姿に感銘を受け、充実した日々を送ることができました。サパのプレゼンテーションにおける皆さんの提言は、独創的で、赤ザオ族の方々に役立つものばかりでした。また、科学者としての創造力に加えて、現地の方々と一緒に森林に分け入り、ハーブの採取に果敢に挑む、活潑な一面も見られました。この研修を通じて、私たちも多くの学びや気づきを得ることができ、とても感謝しています。

M.A. Vu Thanh Ngoc
Manager of Travel Department
TOURISM AND
SCIENTIFIC SERVICES CO.,LTD





学生企画提案型

Proposal-based
Internship



個々の学生が自身のキャリアパスに応じた内容のインターンシップを自ら企画・提案。プログラム運営委員会による書類・プレゼン審査を通過した申請に対し、旅費・研修費などの支援を行っています。

ニューメキシコ大学

Supporting Technology Transfer and
Catalyzing Economic Development (STC)

2015. 6.1 - 8.10 【4年コース 医学教育部 博士課程4年 嶋本雅子】

将来、企業や大学の研究コーディネーターとして活躍することを目指し、技術移転や新技術のマーケティング戦略と開拓などのノウハウを学ぶためのOJT研修を実施しました。

事前研修

5月
熊本大学

STC

6-8月
米国

- 研究推進ユニット（3日間）
リサーチアドミニストレーター (URA) の業務の概要や科学研究費獲得に向けた取組などに関する学習
 - サイエンスカフェやセミナーの企画
 - プレスリリースの原稿チェック
 - 研修成果の発表
- 産学連携ユニット（4日間）
特許申請・管理、共同研究や受託研究の契約、ライセンス活動に関する学習

- オリエンテーション
- 所内ミーティング、セミナー
- 特許弁理士との電話ミーティングなど
- 企業のスタートアップ
- マーケティング・広報活動
 - パートナー企業の選別
 - 特許研究概要や技術ポートフォリオの作成
 - メール配信
 - 大学の発明内容とパートナー候補企業のマッチング
- プロジェクト ECHO (Extension for community healthcare outcomes) のオリエンテーション

- インターンシップ成果発表
最終日のプレゼンにて、自身の研究概要、熊本や熊本大学の紹介に加え、日本のURAや技術移転の現状、問題点などに触れました。さらに、取締役たちとの会合でスピーチにも挑戦。他のスタッフの紹介などを行いました。



大学の寮からシャトルバスで通勤。STC 専用のメールアドレスを与えていただき「一職員として働く」ことを実感。



日米共同研究施設 Smart Grid の訪問

熊本大学とSTCの
現場で実務を経験！
日米間で組織や
方針の違いを
比較できた



ニューメキシコ大学



休日には上司と野球
観戦に出かけることも

インターンシップを終えて
研究コーディネーターの心構えや立ち居振る舞い、日本の大学や企業が抱えるこれからの問題への解決策がみえた10週間でした。世界の中の日本の立ち位置や期待される役割を知ることもできました。研究コーディネーターは人を相手にする仕事なので、相手の話を聞いて理解し、否定しないこと、適切な言葉で簡潔に述べる必要があると感じました。今後もコミュニケーション力と、そのツールとしての英語力を鍛えたいです。





学生企画提案型

Proposal-based
Internship



←食品見本市ANUGAの会場

ヤマエ久野株式会社

2015. 10.10 - 10.14

【専門コース 医学教育部 博士課程1年 呉花 楠、
薬学教育部 博士後期課程2年 弘津辰徳】

総合卸であるヤマエ久野株式会社は、九州の食品を世界に発信するため、世界最大級の食品見本市「ANUGA」に参画。起業に関心のあるHIGOプログラム生たちが、ANUGAの企画・運営、ブース出展や海外企業との商談などの現場にて、OJTを実施しました。



企画会議
への参加

7-9月
ヤマエ久野

- ANUGAでPRを担当する商品の把握
- 和食の良さを世界に伝えるために提供する試食の食材・献立の検討
- 貿易に関する勉強会への参加
- プロモーションビデオ作製企画の補助
- ポスター用素材撮影

ANUGA

10.10-14
ドイツケルン



【目的】

生きたビジネスに触れ、国際社会における日本企業の状況や問題点を知り、「企業から求められる博士人材」について考え、自身のキャリアに生かす。

【ANUGA開催中の業務】

英語・中国語・韓国語の通訳、写真撮影、販売促進活動、商談のサポートなど

インターンシップを終えて
大学にいただけでは、決して学び取ることはできない経験を通じて「企業という組織で働く」とはどういうことか？を実感できました。今回学んだ、国内外の企業・施設間との連携の方法やその“極意”を「日本の医療を海外に展開する」という自身の夢の実現に活かしたいです。



【目的】

起業に関心があるため、実ビジネスを体験する。

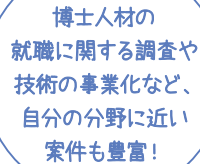
【ANUGA開催中の業務】

会社や商品の説明、和食のプロモーションなどについての通訳

インターンシップを終えて

海外の人々の声を聞くことで、世界における和食への関心の高さを実感しました。また、今までほとんど無知だった食品分野や貿易に関する知識も学ぶことができたので、今後、起業を考える際のヒントとしていきたいです。





HIGO大学院生インタビュー

研究テーマ：
遺伝性呼吸器疾患
CFにおける非コード
RNAの機能解析



亀井 竣輔

KAMEI Shunsuke

専門コース 薬学教育部
遺伝子機能応用学分野
博士後期課程1年
(学術振興会特別研究員DC1)



研究テーマ：
ビタミンDの多面的な
生理活性を利用した
新規肝疾患治療薬の
開発



Bi Jing

ビー ジュン

中国出身
基礎コース 薬学教育部
薬剤学分野
博士前期課程2年



研究テーマ：
超過剰排卵誘起法に
関する研究



椋木 歩

MUKUNOKI Ayumi

基礎コース 医学教育部
資源開発学分野
修士課程1年



研究テーマ：
Identification of
SIRT7 inhibitors
for the development
of drug for cancer
and fatty liver.



Islam Md. Safiquel

イスラム エムディ サフィクール

バングラデシュ出身
4年コース 医学教育部
病態生化学分野
博士課程2年



将来の夢は何ですか？

アカデミアの領域で研究者および指導者として、遺伝性・難治性疾患の研究に従事することです。HIGOプログラムでの様々な活動は、研究領域だけでなく語学やリーダー教育、経営戦略など、今後の研究活動に積極的に活用できる教養を高めてくれています。これらの経験を生かして、科学分野の面白さを後世に伝えつつ、社会貢献につながる独創的な研究を先導していきたいと思っています。

HIGOで印象に残っているイベント・活動は何ですか？

9月にベトナムインターンシップに参加し、ハノイの大学生と交流を深め、農村部であるサバにて、Red Hmong族という少数民族の方とたくさんお話できたことです。普段なかなか味わうことのない現地の生活を体験することができ、世界の広さ、open-mindの大切さ、多文化共生の素晴らしさを知りました。

なぜHIGOを志望したのですか？ 実際入ってみてどうですか？

医薬系の講義だけではなく、人文社会系の講義や行政に関するセミナーを受講することができ、キャリア形成における自己の可能性を広げることができると考えたからです。実際、HIGOプログラムの講義では、様々な国籍をもつ人々とのディスカッションを行う場面が多いため、国内だけでなく、海外で働く際に必要となるコミュニケーションスキルを習得できることも、このプログラムの魅力の1つだと感じています。

HIGOに入って 変わったことは何ですか？

The most important thing HIGO Program has given me is motivation. The program has helped me to set my goal with clear mission and vision. In this program I participated in different types of trainings, internships, and seminars while engaged in my own research. And they have empowered me to think maturely and diversely. Overall, HIGO Program has expanded the purview of my thought, which will be of great help to lead the world in the future.

博士課程教育リーディングプログラムフォーラム2015

2015. 10.24 - 10.25 【参加者：学生5名、教職員12名、学外関係者2名】

文部科学省に採択された62の博士課程教育リーディングプログラムの教職員・学生が集結。HIGOプログラムはワークショップにて小椋 光コーディネーターが「学生支援」に関する発表を行ったほか、ポスター発表や学生フォーラムなどに参加。プログラム間の交流を深め、新しい博士教育プログラムの成果を社会に広める機会となりました。



学生フォーラム

5人のHIGOプログラム生に加え、ファシリテーターとして熊本日日新聞社の井芹道一編集委員（本学客員教授）と石田聖特任助教が参加。5つのテーマについて、グループに分かれて討論した後、テーマ毎に選出されたグループが最終発表を行いました。



リーダーシップ教育

専門コース 薬学教育部 博士後期課程1年 亀井竣輔

HIGOプログラムの熊本・九州・アジアにおけるインターンシップや各界のリーダーによるセミナー・講義などを紹介。各プログラムのユニークな取り組みを共有した上で「今後のリーディングプログラムがリーダーシップを育むためには、学生間、あるいは第三者の客観的な意見を聞き、積極的に内省すべきだ」と提言した。



産業界や公的機関などとの連携

専門コース 薬学教育部 博士後期課程1年 大町紘平

HIGOプログラムの企業セミナーやインターンシップ、社会文化科学・海外研修など、現場のニーズや世界の動向を知り、多面的に物事を考え問題を解決する力が必要であることを学んだ。他のプログラム生やファシリテーターとの議論から「企業と大学が共同研究を行う場合、求める成果の形にズレがある」ことを知った。



異分野横断や交流

基礎コース 薬学教育部 博士前期課程2年 Bi Jing

HIGOプログラムの異分野横断型の科目として、企業・行政・最先端研究セミナーや研究室ローテーション、インターンシップを紹介。学生と教員、産業界と大学、さらに、リーディングプログラムと社会の間のギャップを埋めるための対策について議論した。その中で「学生主導で、リーダーシップやコミュニケーション力を鍛えるためのコースを作りたい」「リーディングプログラム間で互いの取組を知り、良いものは取り入れるべき」などの意見が挙げられた。



実社会の課題に基づくプロジェクトワーク

4年コース 医学教育部 博士課程1年 永松 翔

「熊本から世界へ〜水銀フリー社会の実現〜」熊本日日新聞社のインターンシップで学んだ世界の水銀汚染事情について紹介。水銀問題は、熊本で起きた「水俣病」というローカルな問題がグローバルな問題に発展したものである。アジア

では経済発展により大気中の水銀濃度が年々上昇している。今後はこの問題をいかに解決していくかを考える必要がある。他のプログラム生との議論では「地域ごとでも良いのでリーディングプログラム間の交流を増やすべき」などの意見が挙げられた。



グローバル化や国際化

4年コース 医学教育部 博士課程3年 Haque, Fahimu Kabir Monjurul

社会のグローバル化に応じて、大学院では、ビジネスや実社会を理解するための教育も必要である。そこで、HIGOプログラムの行政・企業・最先端研究セミナーやインターンシップ、キャリアビジョン開発コースを紹介。他のリーディングプログラム生との議論では「学生が海外のビジネスや社会活動に携わる機会を増やせば、英語力やコミュニケーション力が鍛えられる」などの意見が挙げられた。



優秀な学生が多く、刺激を受けた。同時に、自分の強みや弱み、立ち位置がわかり、今後の目標が明確になった



Information

【お知らせ】

インターンシップ報告会開催決定！

2015年度実施したインターンシップの報告会を行います。

日時：2016年2月12日（金）
13:00 開始予定

場所：熊本大学医学総合研究棟3階 講義室
（熊本市中央区本荘1丁目1番1号）



<http://higoprogram.jp/>

※HIGOプログラムホームページをご覧ください

【HIGOプログラム生の活躍】 <http://higoprogram.jp/activity>

- The 14th International conference on Bioactive Lipids in cancer, inflammation and related diseases, ONO Travel Award受賞 2015年7月 岩崎 亮（専門コース／薬学教育部薬学生化学分野）
- 第31回日本DDS学会学術集会 若手優秀発表者賞受賞 2015年7月 弘津辰徳（専門コース／薬学教育部製剤設計学分野）
- The 9th International Congress of the Asian Society Against Dementia 優秀ポスター賞受賞 2015年9月 吳花 楠（専門コース／医学教育部放射線診断学分野）
- The 2015 International Workshop on Alport Syndrome Award for the best poster presentation受賞 2015年9月 大町紘平（専門コース／薬学教育部遺伝子機能応用学分野）
Award for the best young investigator presentation受賞 嘉村美里（基礎コース／薬学教育部遺伝子機能応用学分野）
- 第5回日本バイオマテリアル学会九州ブロック講演会 学生ポスター賞受賞 2015年9月 大山歩務（専門コース／薬学教育部製剤設計学分野）

研究室一覧

学生募集のお知らせ http://higoprogram.jp/admission_top

HIGOプログラムへの入学を希望する方へ

以下の医学教育部または薬学教育部のいずれかの研究分野(研究室)から、入学後に希望する研究分野を選定し、分野の代表者(教授等)に事前にコンタクトを取り相談してください。

熊本大学大学院医学教育部

●基礎医学系

形態構築学	福田 孝一
生体微細構築学	若山 友彦
脳回路構築学	玉巻 伸章
神経分化学	太田 訓正
知覚生理学	宋 文杰
分子生理学	富澤 一仁
分子酵化学	山縣 和也
病態生化学	山縣 和也
分子遺伝学	尾池 雄一
腫瘍医学	富澤 一仁
機能病理学	伊藤 隆明
細胞病理学	竹屋 元裕
分子病理学	伊藤 隆明
細胞情報薬理学	中西 宏之
生体機能薬理学	光山 勝慶
微生物学	澤 智裕
免疫学	押海 裕之
免疫識別学	西村 泰治

●社会医学系

公衆衛生学	加藤 貴彦
法医学	西谷 陽子
生命倫理学	門岡 康弘

●内科系

呼吸器内科学	興梠 博次
循環器内科学	掃本 誠治
代謝内科学	荒木 栄一
腎臓内科学	向山 政志
消化器内科学	佐々木 裕
血液内科学	満屋 裕明
膠原病内科学	満屋 裕明
感染免疫内科学	満屋 裕明
神経内科学	安東 由喜雄
小児科学	遠藤 文夫
放射線診断学	山下 康行
放射線治療学	大屋 夏生
神経精神医学	池田 学
総合診療科学	笠岡 俊志

保健医学	副島 弘文
医療情報医学	宇宿 功市郎
●外科系	
消化器外科学	馬場 秀夫
呼吸器外科学	鈴木 実
心臓血管外科学	福井 寿啓
乳腺・内分泌外科学	岩瀬 弘敬
小児外科学・移植外科学	猪股 裕紀洋
脳神経外科学	倉津 純一
整形外科	水田 博志
産科婦人科学(産科、婦人科)	片淵 秀隆
泌尿器科学	河野 吉昭
眼科学	谷原 秀信
耳鼻咽喉科・頭頸部外科学	湯本 英二
皮膚病態治療再建学	尹 浩信
侵襲制御医学	蒲原 英伸
麻酔科学	山本 達郎

●発生医学研究所

分子細胞制御	小椋 光
腎臓発生	西中村 隆一
脳発生	嶋村 健児
幹細胞誘導	江良 沢実
損傷修復	立石 智
組織幹細胞	小川 峰太郎
細胞医学	中尾 光善
多能性幹細胞	丹羽 仁史
生殖発生	中村 輝

●生命資源研究・支援センター

資源開発	中瀧 直己
バイオ情報	荒木 正健
RI実験	古嶋 昭博
疾患モデル	荒木 喜美
表現型解析	南 敬

熊本大学大学院薬学教育部

遺伝子機能応用学	甲斐 広文
創薬基盤分子設計学	石塚 忠男
生体機能分子合成学	大塚 雅巳
機能分子構造解析学	山縣 ゆり子

病態遺伝子解析学	中村 輝
分子薬化学	中島 誠
構造生命イメージング	寺沢 宏明
天然薬物学	塚本 佐知子
天然薬物学薬用植物学	渡邊 高志
薬物活性学	香月 博志
微生物薬学	大槻 純男
生命分析化学	森岡 弘志
環境分子保健学	三隅 将吾
薬学生化学	杉本 幸彦
臓器形成学	荒木 喜美
製剤設計学	有馬 英俊
薬物治療学	猿渡 淳二
薬剤情報分析学	入江 徹美
臨床薬物動態学	斎藤 秀之
薬物送達学	今井 輝子
臨床薬理学	平田 純生
薬剤学	丸山 徹
病態遺伝学	南 敬

学内他部局プログラム担当者

熊本大学政策創造研究教育センター 教授	上野 真也
熊本大学政策創造研究教育センター 准教授	河村 洋子
熊本大学大学院社会文化科学研究科 准教授	石原 明子
熊本大学 名誉教授、客員教授	高橋 隆雄
熊本大学 顧問、名誉教授	小野 友道

学外プログラム担当者

横浜市立大学 教授	安川 文朗
東京工業大学 教授	桑 昭苑
熊本県知事	蒲島 郁夫
熊本市市長	大西 一史
熊本市前市長	幸山 政史
熊本商工会議所 会頭(ホテル日航熊本 会長)	田川 憲生
熊本経済同友会 代表幹事(肥後銀行 頭取)	甲斐 隆博
熊本日日新聞社 編集委員、熊本大学 客員教授	井芹 道一
株式会社同仁化学研究所 技術顧問	佐々木 一美
一般財団法人化学及血清療法研究所 部長	前田 浩明
第一三共株式会社 主任研究員	玉井 馨子

※HIGOプログラム担当者



西村 泰治
プログラム責任者
熊本大学大学院医学教育部 部長



小椋 光
プログラムコーディネーター
熊本大学発生医学研究所 教授

表紙協力：HIGOプログラム生(左から 岩崎亮、池田真由美、永松翔、嶋本雅子、Khine Zar Wynn Myint)

HIGOprogram Newsletter vol.5

発行：熊本大学 博士課程教育リーディングプログラム

国立大学法人熊本大学 教育研究推進部リーディングプログラム推進チーム

〒860-8556 熊本市中央区本荘1-1-1

Phone: 096-373-6832 Fax: 096-373-5031

mail: higo-program@jimu.kumamoto-u.ac.jp

<http://higoprogram.jp>

<https://www.facebook.com/higoprogram.jp>

デザイン：中川哲子デザイン室

